

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	発掘調査の整理・報告書刊行事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	11	02	05
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	発掘調査で得られた情報や遺物	意図	埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行・公開し、記録保存及び活用できるようにするため。
事業内容	発掘調査で得られた情報や出土遺物について、記録整理、研究分析、報告書作成・刊行を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和50年代に本格化した発掘調査は、昭和60年代以降件数の増加に伴い、現場優先となったことから、整理作業の遅滞が増加し、報告書未刊行となっている遺跡も多い。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	発掘調査報告書刊行数	2	1	1	件	→→
②	新たに刊行対象となった発掘調査数	7	15	5	件	→→	
③	発掘調査報告書未刊行数	70	83	87	件	→→	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・発掘調査件数の増加により刊行対象発掘調査数も増加するため、報告書刊行が間に合わず、未刊行数は増加する一方である。 ・発掘調査担当者として整理・報告書担当者が同じであるため、発掘調査業務が増加すると整理・報告書業務は遅滞する。
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		52,057,139	60,743,869	62,325,071			
事業費(b)(円)		25,245,586	29,875,417	31,000,076			
うち一般財源		25,245,586	29,875,417	31,000,076			
職員給与と費(c)(円)		26,811,553	30,868,452	31,324,995			
人役・職員(人)		0.80	0.60	0.55			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		19.23	24.57	25.31			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	埋蔵文化財発掘調査事業との調整を図り、本事業に専従する期間・人を確保する。	③取組における課題(Check)	これまで受託発掘調査報告書刊行事業で進めていた分も含めた着実な報告書の刊行。
②H30に実施した取組(Do)	発掘調査事業の比重が増し、本事業に専従する期間・人の確保は困難だった。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	本事業に専従する人員の確保・増員。